

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名：石岡市立杉並小学校 担当教諭名；阿部 彩子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成21年12月8日(火) 9:00~11:45
対象学年と人数	9:00~9:45 1・6年生の交流(6クラス 179人) 10:00~10:45 2・5年生の交流(5クラス 162人) 11:00~11:45 3・4年生の交流(6クラス 184人)
派遣講師名と出身国	パンズラグチ パヤルツエツエ(モンゴル) サイ ヘキゲツ(台湾) ミョウ ユウ(中国) キム ソナ(韓国) 他に保護者2名が講師として参加しました。
活動の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師の方の自己紹介(母国語でのあいさつ) ・ 小グループごとの交流(国旗紹介・学校生活・食文化等のお話, 質問タイム) ・ 講師の方によるゲーム紹介, 体験の時間 ・ 児童によるお礼のあいさつ
生徒の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台湾には4種類も言葉があるなんて知らなかったのでびっくりしました。負けたらどんどん足を広げていくというジャンケンゲームも楽しかったです。 ・ ビビンバが韓国の食べ物だということを初めて知りました。ハングル語で名前を書いてもらったのがうれしかったです。わたしもハングル語をやってみたいです。もっと韓国のことが知りたくなりました。 ・ 韓国は教室にトイレがあったり, グランドが芝生でできていたり, 日本と違うことがたくさんあるんだなぁと思いました。いろいろなゲームで遊んで楽しかったです。 ・ モンゴルや台湾のお洋服がとてもきれいでした。中国のミョウさんと太極拳をやったのもおもしろかったです。
先生の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師の方の表情が明るく, 休み時間にも熱心に児童の質問に答えたり一緒にゲームをしてくれたりしていて良かった。特にゲームなどの体験活動が児童にとってはおもしろく, 心に残ったようだった。民族衣装を着せてもらった子もあり, ふだんではできないような体験ができて皆目を輝かせていた。 ・ お話するときにパワーポイントを使用した講師の方が多かったが, 説明が難しすぎる場合があった。小学生にとっては, いくつかの写真と実物があれば十分だと思った。また, クイズの賞品に食べ物を児童に与えていた方がいたので, 事前の打ち合わせが必要だと思った。

